



3/13
(月)

長島の子表彰特別賞を受賞 培った力で次の舞台へ

第104回全国高等学校野球選手権大会に、鹿児島県代表として鹿児島実業高校のエースピッチャーで出場した赤崎智哉さんに、3月13日、川添健町長から長島の子表彰特別賞が手渡されました。

赤崎さんは「まずは社会人として仕事を頑張り、高校で培った知識や力を生かして野球を続けていきたい」と次の舞台への意気込みを語りました。

表彰を受けた赤崎さん(写真中央)



赤崎さんは4月から日産自動車九州(福岡県)の「苅田ビクトリーズ」に所属しています。

3/16
(木)

農業委員会が意見書を提出 農業の発展と持続のために

3月16日、長島町農業委員会が川添町長へ意見書を提出しました。

同委員会は1月17・18日に本町の農業の発展・持続のために、地域の農業者の声を聞く意見交換会を開催。その中で出た提案や要望を意見書にまとめました。

意見書には遊休農地対策や労働力の確保、農産物を活用した特産品の開発などについての現状や提案が盛り込まれました。

意見書を提出した委員ら



飯田満穂会長は「今後の長島町の農業発展のために、今回提出した農業者の声をぜひ反映していただきたい」と力強く語りました。

3/22
(木)

作文コンクールで県知事賞を受賞 虫から学んだ大切なこと



受賞した石丸君

第59回MBCラジオ私たちの作文コンクールで石丸太心君(川床小3年)が県知事賞を受賞しました。

これは南日本放送の主催で、今回は県内50の小中学校から688点の応募がありました。

石丸君は「カマキリから学んだこと」と題して、カマキリがエサを食べる様子から学んだ命の大切さや自然環境を守ることの重要性を書きました。

将来の夢が昆虫博士の石丸君は「これからもごみを拾うなどして自然を大切にしていきたい」と目を輝かせて話しました。